

最盛期を迎える 首里城正殿本体工事

開発建設部

No.13

窓

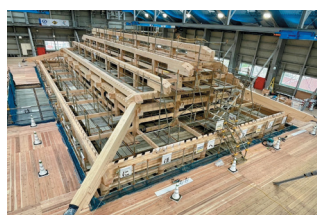
仕事の

正殿本体工事の
進捗状況について

令和4年度に着工した首里城正殿本体工事は、令和5年度に正殿を覆う素屋根（仮設）を設置し、9月に本体の現地組立て（軸組建方）が始まり同年12月末に完了しました。現在（令和6年3月末時点）は主に屋根工事（軒先等）を進めており、令和6年度は屋根瓦葺き、内外部の木工事、漆塗り等の工事へと続きます。また、沖縄県首里城復興基金（寄付金）を活用した調達物については、瓦類（約60000枚）や各種彫刻類等が納入される予定となっており、沖縄県と連携しながら、令和8年正殿復元へ向けて順調に整備を進めているところです。



正殿軸組建方開始 (R5.9.4)
※一本目柱の吊上げ状況



正殿軸組建方が完了 (R5.12.25)



正殿屋根の木工事の状況 (R6.3.28)



向拝柱（イヌマキ材）の
刻字（こくそ）詰め状況 (R6.2.26)
※木材のひび割れ等を埋める作業



寄付金を活用し沖縄県が調達・納入する箇所の1例

特別体験イベントの
開催について

令和6年2月23日～3月3日下之御庭において特別体験イベントを開催し、正殿本体工事で発生した木材の端材を用いて、丸太ベンチのやすり掛け体験とヒノキ板への弁柄塗り体験を実施しました。体験は所要時間30分程度で県内外より幅広い世代の方に参加いただき、期間中約2000人の参加がありました。

また3月2日には宮大工の伝統技術を間近で見学・体験できる宮大工体験会（予約制）を実施し、約1800人の参加がありました。（令和5年9月9～10日に実施した同内容イベントの第2弾）

令和6年度は正殿本体工事の最盛期を迎えます。刻々と変わっていく正殿の姿は今しか見られません。引き続き「見せる復興」に関するイベント等に取り組み首里城復興を盛り上げていきます。

お問合せ先

開発建設部 建設産業・地方整備課
☎098-866-1910



かんな掛け体験（宮大工体験）



やすりがけ
体験

弁柄塗りの
作品



弁柄塗り体験